

県図なう。

平成23年7月15日発行
第4号（毎月15日発行）

<http://www.library.pref.kagoshima.jp/>
Tel : 099-224-9511

鹿児島県立図書館の“今（ナウ）”をお知らせし、図書館と利用者を結ぶ情報紙です。

鹿児島県立図書館

ホットニュース

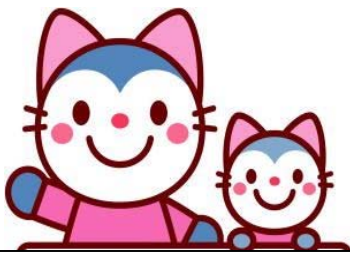
わが家の『おやこ一冊読書』エピソード 募集のご案内



1 趣 旨 本年度県立図書館では、「おやこ一冊読書」運動を推進しています。
この運動は、たくさんの本の中から、親子にとって大好きな一冊、思い出深い一冊を「宝本」（宝物のような本という意味）と名付けて、本を通じた親子の絆を深め、読書のよさを再認識していこうとするものです。多くの本に触れることも大切ですが一冊の本を繰り返し読んだり、本について語り合ったりして、じっくり味わうこともまた大切です。
このたび、この運動を広く普及・推進するために、「わが家の『おやこ一冊読書』エピソード」を募集します。応募作品は「おやこ一冊読書展」で展示します。

2 応募資格 どなたでも応募できます。

3 応募作品の内容 「おやこ一冊読書」の趣旨を踏まえたエピソードの紹介文



(1) 親子で大好きな本（宝本）になるまでのエピソードなど

(2) 親子以外にも、誰かとの思い出の本についてのエピソードなど

(例) 先生と生徒・友だち同士・祖父母と孫・夫婦・恋人同士



我が家の宝本は、「わたしのワンピース」です。2才の誕生日におばあちゃんからワンピースと一緒にプレゼントされた本です。1回読んだら一番のお気に入りになり、毎晩読み聞かせしてきました。お話も完全に覚えてしまって、散歩したり、洗濯物を干したりする時など、親子で一緒に「ラランロロン……」と口ずさんでます。

私のうちの宝本は「もこもこもこ」です。1才の子に「読んでほしい本を持っておいで」と言うと必ずこの本を持って来ます。最初、何がおもしろいのか全く分かりませんでした。ページをめくるごとに子どもが「ぶうっ」とか「ぼろりっ」とか口に出して喜ぶので、毎日読むうちに、いつの間にか親も好きになってしまった一冊です。

4 応募

(1) 方法 応募用紙に記載し、Fax、Eメール、郵送または持参で応募してください。

鹿児島県立図書館本館ホームページにも応募用紙を掲載しています。

HP アドレス <http://www.library.pref.kagoshima.jp/honkan/>

(2) 応募先 鹿児島県立図書館奉仕課 〒892-0853 鹿児島市城山町7-1

電話 099-224-9514 FAX 099-224-5824

Eメール miwa-matsumoto@pref.kagoshima.lg.jp

(3) 締切り 平成23年8月10日（水）

(4) その他 応募作品は鹿児島県立図書館「おやこ一冊読書展」で展示します。

開催期間：平成23年9月16日（金）～ 11月24日（木）

開催場所：鹿児島県立図書館正面玄関ホール

催し物の御案内

7月15日(金)～8月31日(水)

ミニ展示「職業紹介します」

就職活動中の学生や仕事について知りたいと
考えている人に職業に関する本を紹介します。

場 所：県立図書館一般閲覧室

7月16日(土)～8月31日(水)

ミニ展示「自由研究、お手伝いします」

自由研究に役立つ本や夏休みの課題を解決す
る本を紹介します。

場 所：県立図書館児童文化室

図書館職員のつぶやき

県立図書館では毎週水曜日、午後3時30分から児童文化室で「おはなしのじかん」を行っています。

先日、1才にもならない子どもさんを連れのお母様が「子どもが『おつきさまこんばんは』をとっても気に入って、もう2回も図書館で借りました。」と話しかけてきてくださいました。

おうちでお母さんが読んで聞かせると、「こんばんは」の「は」でいっしょに声をだしたり、裏表紙の舌を出しているおつきさまの顔まねをしたりするそうです。

親子で図書館にやってきて、宝本に出会った家族がいることを知りとっても幸せな気持ちになりました。(M.T)



児童文化室でお聞きした

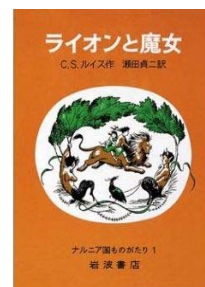
わが家の「おやこ一冊読書」

母親Tさんにお聞きしました。娘さんKさん(13才)との「おやこ一冊読書」のおはなしです。

最近、人気作家のベストセラーを読むようになった娘。成長した姿が頼もしい一方で、少しさびしい気もしています。そんな娘に、「好きな本は、何?」とたずねてみると、『ナルニア国ものがたり』との返事。内心ほっとして、うれしくなりました。

実はわたしが子どもの頃、小学校の図書館で偶然手にしたのがこの本でした。扉の向こうの別世界で、主人公たちとさまざまな冒険に夢中になったものです。娘が小学生になると、この本を読み聞かせしました。挿絵を見て話をしながら、ページをめくったことを思い出します。

学年が上がるにつれ、娘も自分からシリーズを読み進め、好きなところは繰り返し本を開いていたようです。わたしたちは、お互い登場人物にお気に入りがあり、親子で会話が弾むこともあります。本を共有できる楽しさと、「いっしょに読んだなあ。」という思い出が、いつまでも心に残っていることを何よりうれしく思います。



ナルニア国ものがたり1
ライオンと魔女

C.S.ルイス 作
瀬田 貞二 訳
岩波書店

図書館クイズ

県立図書館の児童文化室前に、児童庭園があります。児童庭園には、ある物語の主人公の像があります。その主人公とは、いったいだれでしょう?

<ヒント>いたずら好きで、おとなにならない子ども
といえは…?

県立図書館に来てみたらわかりますよ!

【クイズに答えてプレゼントをもらおう!!】

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に入れてください。抽選で正解者20名にしおりなどのプレゼントを差し上げます。

前回の答えは「さる(おさる)」でした。たくさん
の応募ありがとうございました。

図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
7月						15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						
8月		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20

■は、休館日。斜体字の日は17時閉館。

開館時間 平日：9時～21時

児童文化室は19時閉館

日曜日・祝日：9時～17時

毎週水曜日15:30～16:00 おはなしのじかん

毎月第3土曜日14:00～ 土曜版おはなしのじかん
新着図書の日

一般閲覧室：7月15日(金)・29日(金) 8月15日(月)

児童文化室：7月23日(土)